

科目責任者 石井 文由 (医療製剤学教室)

■ 教育目的

5年次の「地域医療コース」実習において修得した知識、技能、態度の総復習を行う。コース実習中に感じた「地域医療の問題点」を再考し、その問題点に対する対応を討議する。また、実習中に修得した知識、技能、態度を活用して薬局窓口事例を検討する。さらに「地域医療コース」実習の課題として各学生が作成した「研究レポート」を輪読し、今後の地域医療、薬局業務等にどのように活かせるのかを討議する。

その他、地域医療でも取扱っている漢方に関しては「伝統医療薬学コース」、海外の地域医療に関しては「海外医療コース」、将来に求められる地域医療に関しては「地域医療コース」のそれぞれの有識者による講演を聴講し視野を広める。

■ 学習到達目標

1. 地域医療の役割を説明できる。
2. 地域医療の問題点を挙げてできる。
3. 患者対応において問題点を発見できる。
4. 問題点に対して対応策を提案できる。
5. 各自の研究テーマに関してその目的を説明できる。
6. 地域医療における漢方の役割を理解する。
7. 海外における地域医療および薬剤師の役割を理解する。
8. 将来の地域医療の役割について考察する。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：コース実習で得た知識・技能・態度を復習しておく。自分の研究を簡潔に発表できるようにまとめておく。

復習：地域薬局の問題点と展望をもう一度再考する。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1～2	地域医療の問題点とその対応(1)	「地域医療の問題点」をKJ法にて抽出する(SGD、発表、全体討議)	
3～4	地域医療の問題点とその対応(2)	抽出された「地域医療の問題点」に対する対応策を考える(SGD、発表、全体討議)	
5～6	薬局窓口における対応(1)	薬局窓口対応における事例より、問題発見を行い対応策を考える(PBL、発表、全体討論)	
7～8	薬局窓口における対応(2)	//	
9～10	研究レポート輪読	コース実習中に作成した研究レポートをSGにて輪読、討議	
11～12	「伝統医療薬学コース」講演	「伝統医療薬学」に関する有識者の講演聴講	
13～14	「海外医療コース」講演	「海外医療」に関する有識者の講演聴講	
15～16	「地域医療コース」講演	「地域医療」に関する有識者の講演聴講	

■ 授業分担者

石井 文由(責任者)、石橋 芳雄(副責任者)、山崎 紀子(副責任者)、川北 晃司、北原 嘉泰、服部 豊示、足立 茂、植沢 芳広、江口 直光、下川 健一、菅野 敦之、中舘 和彦、山田 俊二、飯田 克巳、宮沢 伸介、小関 珠美、斎坂ゆかり、鈴木 正、山田 聖子、学外講師

■ 成績評価方法

授業(演習・講義)の出席と演習態度を総合して評価する。